

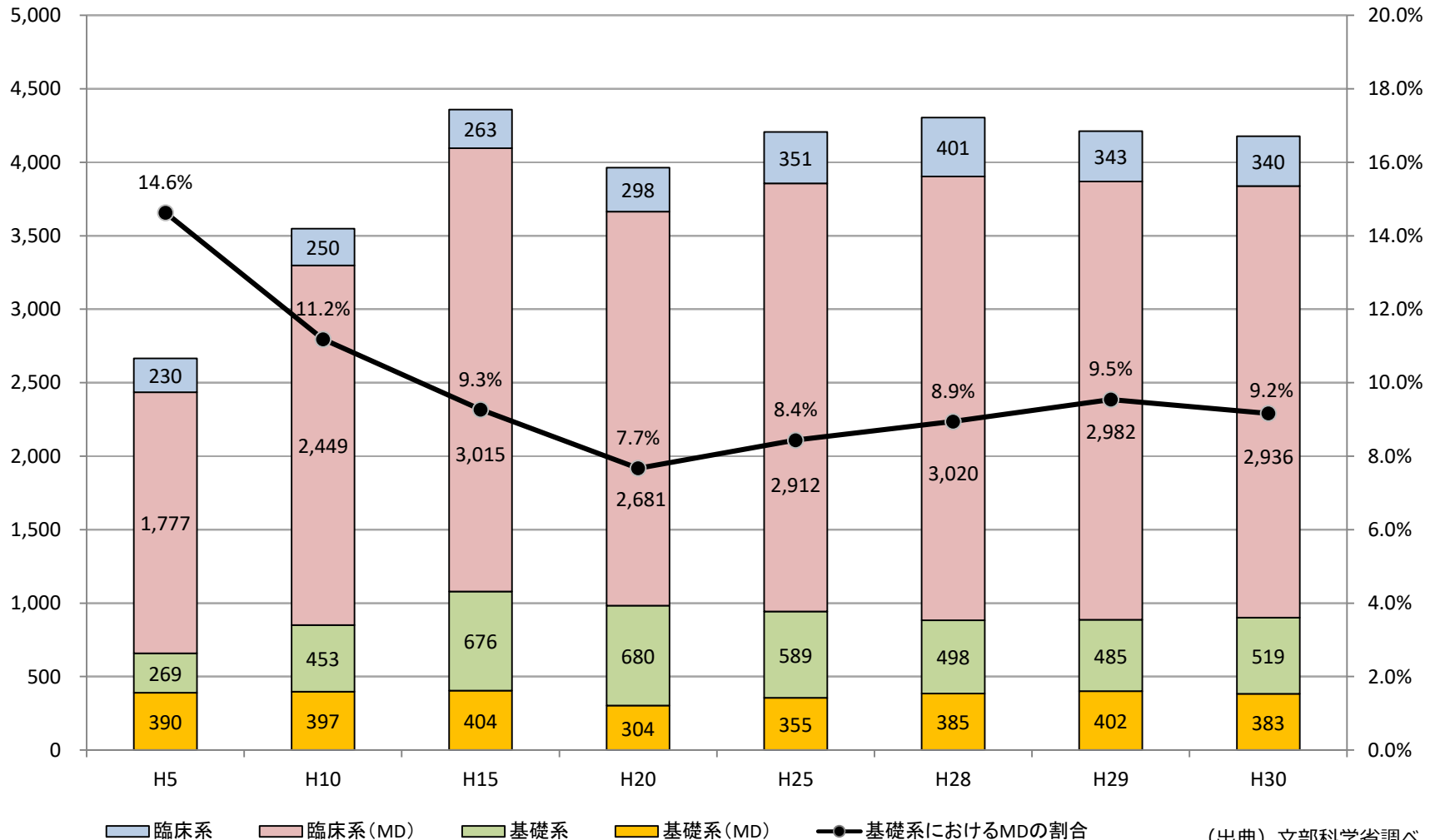
基礎研究医養成に関する状況（H5～30年）

参考資料2

医学系大学院における基礎系（MD）の割合

臨床研修部会報告書
参考資料(平成30年)・改

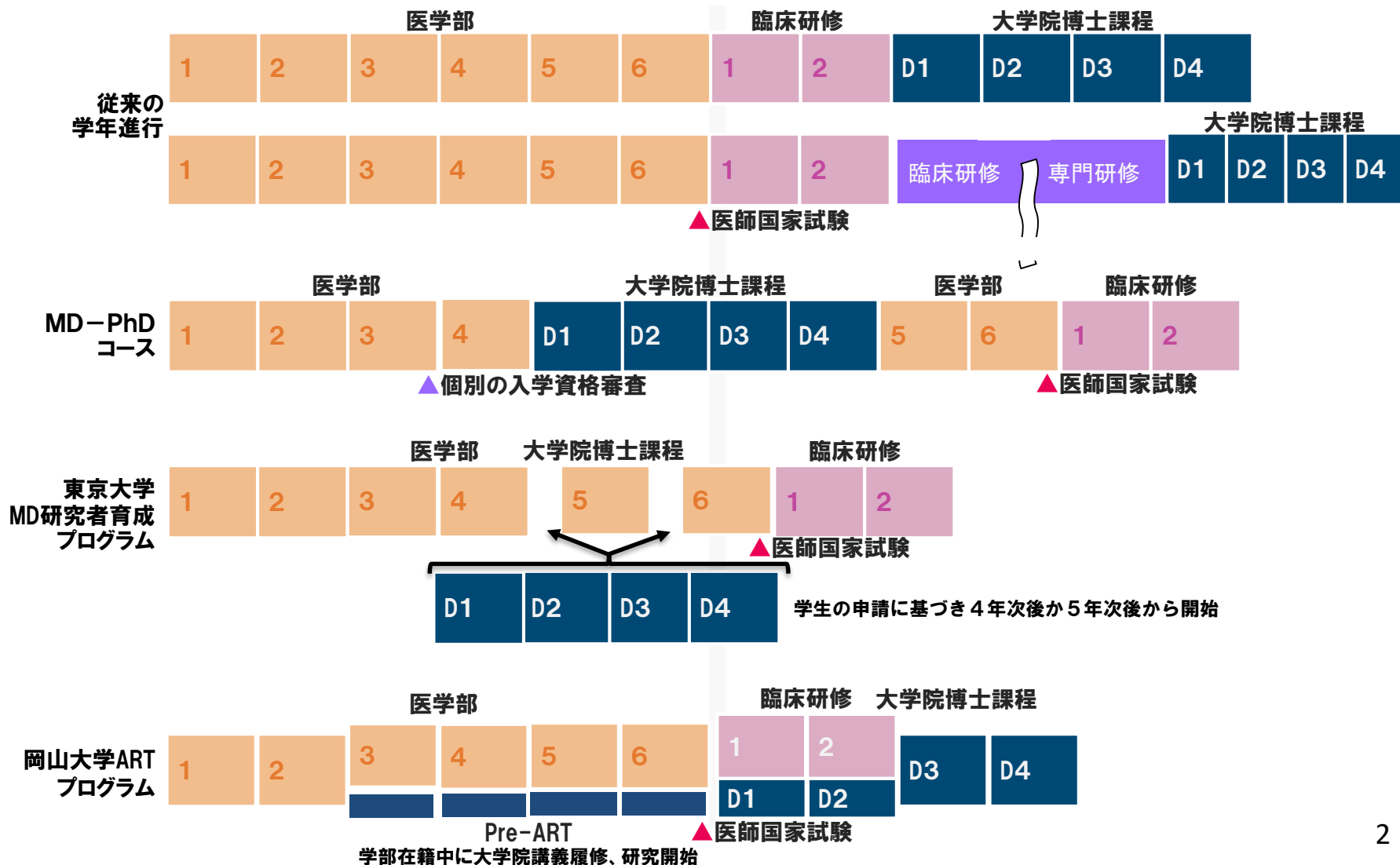
・基礎系（MD）の人数は昨年から微減したものの、その割合はほぼ横ばいであり高めることが必要



(出典) 文部科学省調べ

研究医養成のための大学・大学院を一貫した教育プログラムの例（参考）

学部から大学院へ途切れなく進めることができるよう、各大学において取組が進められている。



平成25年医師臨床研修部会報告書(研究医養成との関係)〈抜粋〉

〈現状〉

- この数十年にわたり**基礎系の大学院博士課程入学者に占める医師免許取得者の割合が低下**していること、**専門医取得に比べ博士号取得の志向は低調**であること等から、**研究に従事する医師(以下、「研究医」という。)の減少による基礎系の教員確保や医学研究の質の低下**について危惧する声がある。
- 臨床研修との関係については、**現在でも、臨床研修の到達目標を適切に達成することを前提とした上で、各大学において、研究医の養成を促進するための様々な取組が行われており、例えば、研究志向のある研修医に対して、自助努力により臨床研修とともに時間外等を利用した大学院における研究を並行して行う特別なコースの設置等**に取り組んでいる大学もある。
- また、研究医にかかる多様なキャリアパスを促進する観点から、**現在は臨床研修修了後に大学院へ進学することが一般的であるが、医師免許取得後、まず大学院へ進学し医学博士を取得後に臨床研修を開始するというキャリアパスも可能**であり、臨床研修制度のQ&Aにも掲載されているところである。

〈課題〉

- 研究医の養成は喫緊の課題であり、臨床研修中に研究志向が薄れないよう、希望に応じて早期に研究に従事できるような柔軟な対応が必要であるとの指摘がある一方、臨床研修の目的は基本的診療能力の修得である、**基礎系の研究医数の推移を踏まえると臨床研修必修化によって急激に減少したとは必ずしもいえない、処遇の改善、キャリアパスの確立、臨床でキャリアを積む中で研究の希望を有した際の研究場所の確保等、臨床研修以外の環境整備が必要**である、等の指摘がある。

〈見直しの方向〉

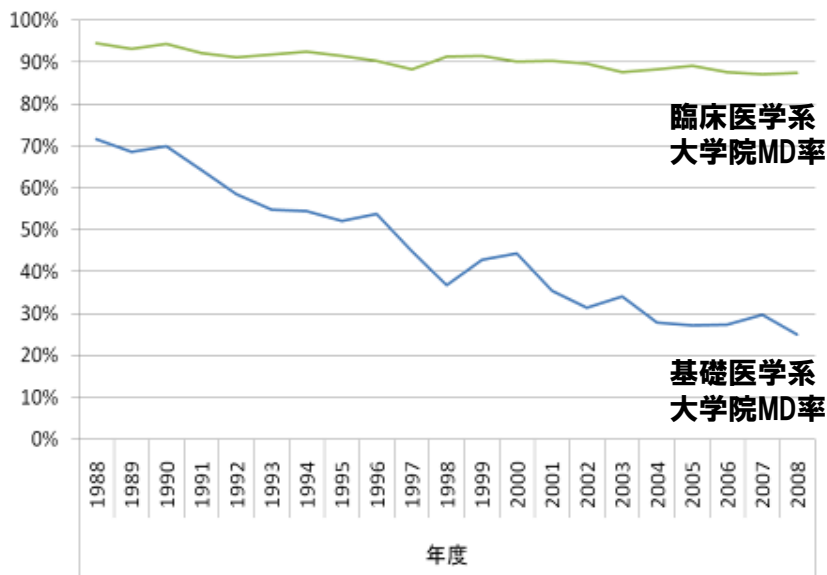
- 現在でも、一部の大学で既に行われているように、**臨床研修の到達目標を適切に達成することを前提とした上で、自助努力により臨床研修と時間外等を利用した大学院における研究を並行して行うこと、医学部を卒業後、まず大学院に進学し、大学院修了後に臨床研修を開始すること等も可能であるが、さらに、研修を一旦休み、一定期間は基礎研究を行い再び臨床研修を行う等、臨床研修と研究をより円滑な形で行き来できる仕組みを構築することが必要**であり、そのことを周知することも望まれる。
- なお、研究医の養成に向けては、臨床研修制度における対応以外にも、**処遇の改善、キャリアパスの確立、臨床でキャリアを積む中で研究の希望を有した際の研究場所の確保等の一層の環境整備も望まれる。**

研究者養成に関する現状(参考)

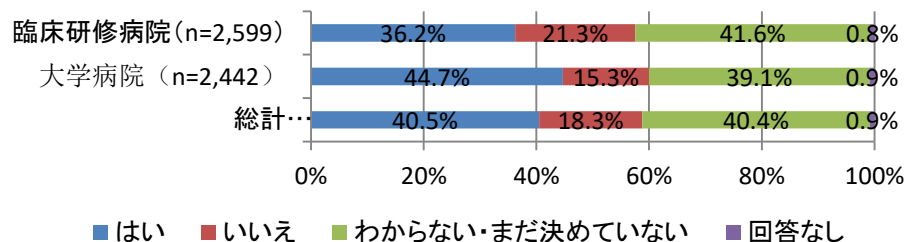
- ・基礎系の大学院博士課程入学者に占める医師免許取得者の割合が低下している。
- ・専門医取得への志向に比べ、博士号取得の志向は低調。

◆基礎医学系・臨床医学系の大学院入学者に占める医師免許取得者(MD)の割合

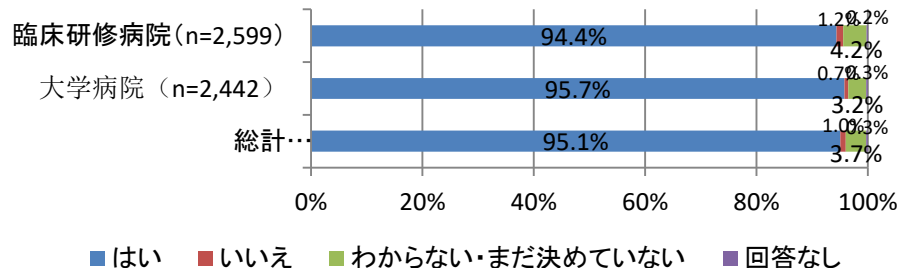
◆臨床研修医の専門医志向と、博士号取得志向の状況



<医学博士の取得希望>



<専門医・認定医の取得希望>



(出典)厚生労働省 平成24年 研修医アンケート調査

「今後の医学部入学定員の在り方等に関する検討会」(第3回)
 東京大学清水(前)医学部長(現副学長)プレゼン資料より

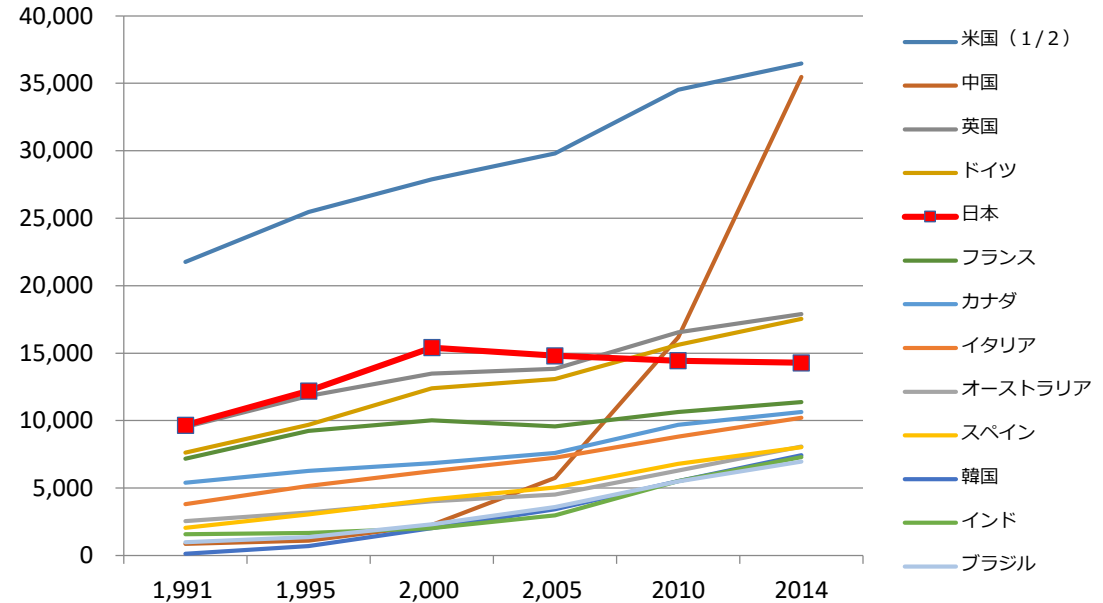
基礎医学分野における国際競争力の低下

・基礎医学論文数は、中国が大幅に増加、インド、韓国、ブラジルが10年間で倍以上の伸びを示しているなか、日本は低調

【各国の基礎医学論文数増加率】

国名	2005	2014	増加率
中国	5,758	35,472	616%
インド	2,980	7,279	244%
韓国	3,427	7,433	217%
ブラジル	3,594	6,948	193%
オーストラリア	4,509	8,073	179%
スペイン	5,037	8,022	159%
イタリア	7,238	10,216	141%
カナダ	7,608	10,633	140%
ドイツ	13,082	17,529	134%
英国	13,841	17,894	129%
米国	59,597	72,923	122%
フランス	9,562	11,361	119%
日本	14,803	14,277	96%

【基礎医学論文数の推移】



(出典) トムソン ロイター Web of Scienceに基づくInCites 2016年6月抽出データにより、鈴鹿医療科学大学長 豊田長康氏作成

「医療分野研究開発推進計画」(抜粋) (平成26年7月22日健康・医療戦略推進本部決定)

・医療の研究開発を持続的に進めるためには、基礎研究を強化し、画期的なシーズが常に産み出されることが必要である。

「死因究明等推進計画」(抜粋) (平成26年6月13日閣議決定)

2 法医学に係る教育及び研究の拠点の整備

・死因究明等に係る分野を志す者を増加させることや、魅力あるキャリアパスの形成を促すことを含めて、引き続き、取組の継続・拡大に努めていく。